

## 昭和電工株式会社 2017年3Q 決算説明会 Q&A要旨

日時：2017年11月14日（火）18:00～19:00

説明者：取締役 執行役員 CFO 加藤 俊晴

\* 内容は、開催日時点の情報に基づいております。

### 【全社】

**Q 業績予想は見直さなかったが、営業利益の進捗率は9割を超えている。4Qの営業利益、純利益に対して注意すべき利益の圧迫要因はあるか。また、SGL統合の取得関連費用は4Qに営業利益内で発生するのか。**

A 7月の業績予想に対しては、上振れ基調で順調に推移している。SGL統合に注力してきており、SGLの4Qにつき情報を段階的に入手しているところだ。資産等を精査する中で、のれんも含め今後分かった時点で開示していく。4Q業績への大きな圧迫要因は特にない。また通期業績の新しい予想については、現時点では持っていない。4Qに発生するSGL統合の取得関連費用は10億円程度である。

### 【石油化学】

**Q 2Q対比3Qは24億円の増益だが、その差異分析を。**

A オレフィンは、主に原料ナフサ要因（受払差・タイムラグ）の改善。サンアロマーも増益。

**Q 4Qの需給は3Q並みのタイト感を想定しているか。**

A そのように見ている。需給のタイト感は変わらず続いている。

### 【化学品】

**（電子材料用高純度ガス）**

**Q 2Qから3Qの業況は横ばいとの説明だが、半導体と液晶に分けた動きはどうか。また、4Qの方向感。**

A 半導体・液晶需要とも堅調だ。半導体市場の伸び以上に、高純度ガスの出荷は伸びており、当社では特に需要が強いメモリー生産用のエッチングガスが強く、高純度ガス業界平均の伸びを上回ることができると思っている。

### 【エレクトロニクス】

**（HD）**

**Q 堅調なメディアの出荷が続いているが、今後の動向をどう見ているか。**

A 1～3Q累計のメディア出荷は対前年比+15%となった。3Q（7～9月）では、好調であった昨年同期比△5%。これは7月の通期予想の織り込み済み、また今年2Qの出荷と同じレベル。4Qはドライブ業界の小幅調整の影響を受けるかもしれない。

### 【無機】

**（黒鉛電極）**

**Q 中国・四川の子会社は増益ということで良いか。また、中国スポット価格の状況は。**

A 四川の電極子会社は、2Q対比3Qは増益となった。中国スポット市況上昇の影響が出始めた。中国のスポット価格は足元では多少下落しており、異常な高値は沈静化しつつある。米国など他の市場への影響はほぼないと見ている。

以上

\* 本資料の将来見通し等に関する記述は、今後以下のような様々な要因により実際の業績と大きく異なる結果となる可能性があります。

・経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レート

・法改正や訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、為替レートや国産ナフサ価格など予想の前提につきましては、2017年11月14日発表の弊社決算短信をご参照ください。